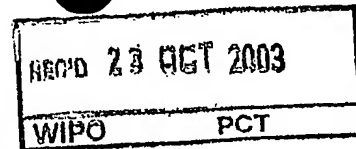


## 特 許 協 力 条 約

PCT

## 国際予備審査報告

(法第12条、法施行規則第56条)  
[PCT36条及びPCT規則70]



出願人又は代理人 の書類記号 F0698/3176	今後の手続きについては、国際予備審査報告の送付通知(様式PCT/IPEA/416)を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JPO3/03974	国際出願日 (日.月.年) 28.03.03	優先日 (日.月.年) 03.04.02
国際特許分類 (IPC) Int. Cl. G06F9/06, G06F13/00, H04M11/00		
出願人 (氏名又は名称) 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ		

1. 国際予備審査機関が作成したこの国際予備審査報告を法施行規則第57条(PCT36条)の規定に従い送付する。
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 5 ページからなる。
- ☐ この国際予備審査報告には、附属書類、つまり補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関に対してした訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面も添付されている。  
(PCT規則70.16及びPCT実施細則第607号参照)  
この附属書類は、全部で                      ページである。
3. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。
- I ☒ 国際予備審査報告の基礎
  - II ☐ 優先権
  - III ☐ 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
  - IV ☐ 発明の単一性の欠如
  - V ☒ PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
  - VI ☐ ある種の引用文献
  - VII ☐ 国際出願の不備
  - VIII ☒ 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 28.03.03	国際予備審査報告を作成した日 06.10.03	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 久保 光宏 電話番号 03-3581-1101 内線 3546	5B 9189

## I. 国際予備審査報告の基礎

1. この国際予備審査報告は下記の出願書類に基づいて作成された。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に  
応答するために提出された差し替え用紙は、この報告書において「出願時」とし、本報告書には添付しない。  
PCT規則70.16, 70.17)

☒ 出願時の国際出願書類

- |                                     |   |       |        |                      |
|-------------------------------------|---|-------|--------|----------------------|
| <input type="checkbox"/> 明細書        | 第 | _____ | ページ、   | 出願時に提出されたもの          |
| 明細書                                 | 第 | _____ | ページ、   | 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの |
| 明細書                                 | 第 | _____ | ページ、   | _____ 付の書簡と共に提出されたもの |
| <input type="checkbox"/> 請求の範囲      | 第 | _____ | 項、     | 出願時に提出されたもの          |
| 請求の範囲                               | 第 | _____ | 項、     | PCT19条の規定に基づき補正されたもの |
| 請求の範囲                               | 第 | _____ | 項、     | 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの |
| 請求の範囲                               | 第 | _____ | 項、     | _____ 付の書簡と共に提出されたもの |
| <input type="checkbox"/> 図面         | 第 | _____ | ページ/図、 | 出願時に提出されたもの          |
| 図面                                  | 第 | _____ | ページ/図、 | 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの |
| 図面                                  | 第 | _____ | ページ/図、 | _____ 付の書簡と共に提出されたもの |
| <input type="checkbox"/> 明細書の配列表の部分 | 第 | _____ | ページ、   | 出願時に提出されたもの          |
| 明細書の配列表の部分                          | 第 | _____ | ページ、   | 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの |
| 明細書の配列表の部分                          | 第 | _____ | ページ、   | _____ 付の書簡と共に提出されたもの |

2. 上記の出願書類の言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願の言語である。

上記の書類は、下記の言語である \_\_\_\_\_ 語である。

- ☐ 国際調査のために提出されたPCT規則23.1(b)という翻訳文の言語  
☐ PCT規則48.3(b)という国際公開の言語  
☐ 国際予備審査のために提出されたPCT規則55.2または55.3という翻訳文の言語

3. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。

- ☐ この国際出願に含まれる書面による配列表  
☐ この国際出願と共に提出された磁気ディスクによる配列表  
☐ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された書面による配列表  
☐ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された磁気ディスクによる配列表  
☐ 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった  
☐ 書面による配列表に記載した配列と磁気ディスクによる配列表に記載した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。

4. 補正により、下記の書類が削除された。

- ☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ  
☐ 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項  
☐ 図面 図面の第 \_\_\_\_\_ ページ/図

5. ☐ この国際予備審査報告は、補充欄に示したように、補正が出願時における開示の範囲を越えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c) この補正を含む差し替え用紙は上記1.における判断の際に考慮しなければならず、本報告に添付する。)

V. 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条（PCT35条(2)）に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)

請求の範囲 1-23 有  
請求の範囲 無

進歩性 (IS)

請求の範囲 15 有  
請求の範囲 1-14, 16-23 無

産業上の利用可能性 (IA)

請求の範囲 1-23 有  
請求の範囲 無

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

請求の範囲 1-14, 16-23

文献1: アスキー書籍編集部・編、「iモードJavaプログラミング—スタンドアロン・アプリケーション編 改訂新版」、初版、株式会社アスキー、2001.05.21、ISBN: 4-7561-3790-3、pp. 40~52  
(特に第47頁の表3-2、第47頁第5~9行、第48頁末行~第49頁第2行)

には、ADFの所在を示すURLがHTMLファイルに含まれており、そのURLを用いてWebサーバからADFファイルをダウンロードし、ダウンロードしたADFファイルの中に記述されているPackageURLという項目で指定されたURLからjarファイルをダウンロードし、そのjarファイルに含まれているプログラムを実行するようになっている。

文献2: Li Gong、「Java Series Java2プラットフォームセキュリティ」、初版、株式会社ピアソン・エデュケーション、2000.11.30、ISBN: 4-89471-193-1、pp. 123~125及び134~138  
(特に第123頁第18~22行、第124頁第20~22行、第125頁の4.2.2節)

には、プログラムに対応したポリシーファイルの所在を示すURLをプログラムを実行するたびに指定することが開示されている。

文献1におけるADFは、プログラムの実行条件を制御するエントリ（例えばTargetDeviceなど）を含むものであるから、ADFのエントリとして文献2にあるようなプログラムの実行条件を指定するポリシーファイルのURLを設けることは、当該技術の専門家にとっては自明のものである。

## VIII. 国際出願に対する意見

請求の範囲、明細書及び図面の明瞭性又は請求の範囲の明細書による十分な裏付けについての意見を次に示す。

請求の範囲 1 7 に記載された「前記セキュリティ記述ファイルの格納位置が前記管理サーバ装置内の場合にのみ」に対応する構成が明細書中に記載されていない。したがって、本願の請求の範囲 1 7 は明細書により十分な裏付けをされていないものである。

請求の範囲 2 2 に記載された「セキュリティ記述ファイルの有効性に関する情報を前記記憶部に書き込む」、「セキュリティ記述ファイルの有効性に関する問い合わせが前記通信部により端末装置から受信されたとき、当該セキュリティ記述ファイルの有効性に関する情報を前記記憶部から読み出し、前記通信部により前記端末装置に通知する」に対応する構成が明細書中に記載されていない。したがって、本願の請求の範囲 2 2 は明細書により十分な裏付けをされていないものである。

請求の範囲 2 3 に記載された「前記セキュリティ記述ファイルが失効している旨の回答が前記通信部により前記管理サーバ装置から受信された場合」に対応する構成が明細書中に記載されていない。したがって、本願の請求の範囲 2 3 は明細書により十分な裏付けをされていないものである。

補充欄 (いずれかの欄の大きさが足りない場合に使用すること)

## 第 V.2 欄の続き

なお、ポリシーファイルが資源へのアクセス権の有無を指定するものであることは、

文献3: Computer Today, 1998. 09. 01, Vol. 15,  
No. 5, pp. 44~49, ISSN: 0289-3509  
(特に第47頁左コラム第28~29行の"File Permission",  
"Socket Permission", "Net Permission"  
という記載)

に開示されているように当該技術分野の専門家にとって自明のものである。

## 請求の範囲15

上に挙げた文献2 (第134~138頁) に開示されているように、暗号鍵と公開鍵を用いて署名を行う手法自体は公知のものであるが、アプリケーション記述ファイルに公開鍵を内包し、セキュリティ記述ファイルを秘密鍵で署名し、アプリケーション記述ファイルに内包されている公開鍵を用いてセキュリティ記述ファイルの正当性を検証する手法は、国際調査報告で列記した文献のいずれにも、記載も示唆もされていない。

文献4: EP 0813132 A2 (International  
Business Machines Corporation)  
1997. 12. 17, 第2頁第20~21行、第3頁第45~48行、  
& US 5825877 A, & JP 10-083310 A

は、当該技術分野における一般的技術水準を示す文献であって、プログラムに対応付けられたACLをダウンロードし、そのACLの記述に基づいてリソースに対するアクセスを制御する技術が開示されている。



# PCT

## INTERNATIONAL PRELIMINARY EXAMINATION REPORT

(PCT Article 36 and Rule 70)

Translation

Applicant's or agent's file reference F0698/3176	<b>FOR FURTHER ACTION</b> See Notification of Transmittal of International Preliminary Examination Report (Form PCT/IPEA/416)	
International application No. PCT/JP03/03974	International filing date (day/month/year) 28 March 2003 (28.03.03)	Priority date (day/month/year) 03 April 2002 (03.04.02)
International Patent Classification (IPC) or national classification and IPC G06F 9/06, 13/00, H04M 11/00		
Applicant NTT DOCOMO, INC.		

- This international preliminary examination report has been prepared by this International Preliminary Examining Authority and is transmitted to the applicant according to Article 36.
- This REPORT consists of a total of 5 sheets, including this cover sheet.  
☐ This report is also accompanied by ANNEXES, i.e., sheets of the description, claims and/or drawings which have been amended and are the basis for this report and/or sheets containing rectifications made before this Authority (see Rule 70.16 and Section 607 of the Administrative Instructions under the PCT).  
These annexes consist of a total of \_\_\_\_\_ sheets.

- This report contains indications relating to the following items:

- I ☒ Basis of the report
- II ☐ Priority
- III ☐ Non-establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicability
- IV ☐ Lack of unity of invention
- V ☒ Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement
- VI ☐ Certain documents cited
- VII ☐ Certain defects in the international application
- VIII ☒ Certain observations on the international application

Date of submission of the demand 28 March 2003 (28.03.03)	Date of completion of this report 06 October 2003 (06.10.2003)
Name and mailing address of the IPEA/JP	Authorized officer
Facsimile No.	Telephone No.

# INTERNATIONAL PRELIMINARY EXAMINATION REPORT

International application No.

PCT/JP03/03974

## I. Basis of the report

### 1. With regard to the elements of the international application:\*

- ☒ the international application as originally filed
- ☐ the description:  
 pages \_\_\_\_\_, as originally filed  
 pages \_\_\_\_\_, filed with the demand  
 pages \_\_\_\_\_, filed with the letter of \_\_\_\_\_
- ☐ the claims:  
 pages \_\_\_\_\_, as originally filed  
 pages \_\_\_\_\_, as amended (together with any statement under Article 19  
 pages \_\_\_\_\_, filed with the demand  
 pages \_\_\_\_\_, filed with the letter of \_\_\_\_\_
- ☐ the drawings:  
 pages \_\_\_\_\_, as originally filed  
 pages \_\_\_\_\_, filed with the demand  
 pages \_\_\_\_\_, filed with the letter of \_\_\_\_\_
- ☐ the sequence listing part of the description:  
 pages \_\_\_\_\_, as originally filed  
 pages \_\_\_\_\_, filed with the demand  
 pages \_\_\_\_\_, filed with the letter of \_\_\_\_\_

### 2. With regard to the language, all the elements marked above were available or furnished to this Authority in the language in which the international application was filed, unless otherwise indicated under this item.

These elements were available or furnished to this Authority in the following language \_\_\_\_\_ which is:

- ☐ the language of a translation furnished for the purposes of international search (under Rule 23.1(b)).
- ☐ the language of publication of the international application (under Rule 48.3(b)).
- ☐ the language of the translation furnished for the purposes of international preliminary examination (under Rule 55.2 and/or 55.3).

### 3. With regard to any nucleotide and/or amino acid sequence disclosed in the international application, the international preliminary examination was carried out on the basis of the sequence listing:

- ☐ contained in the international application in written form.
- ☐ filed together with the international application in computer readable form.
- ☐ furnished subsequently to this Authority in written form.
- ☐ furnished subsequently to this Authority in computer readable form.
- ☐ The statement that the subsequently furnished written sequence listing does not go beyond the disclosure in the international application as filed has been furnished.
- ☐ The statement that the information recorded in computer readable form is identical to the written sequence listing has been furnished.

### 4. ☐ The amendments have resulted in the cancellation of:

- ☐ the description, pages \_\_\_\_\_
- ☐ the claims, Nos. \_\_\_\_\_
- ☐ the drawings, sheets/fig \_\_\_\_\_

### 5. ☐ This report has been established as if (some of) the amendments had not been made, since they have been considered to go beyond the disclosure as filed, as indicated in the Supplemental Box (Rule 70.2(c)).\*\*

\* Replacement sheets which have been furnished to the receiving Office in response to an invitation under Article 14 are referred to in this report as "originally filed" and are not annexed to this report since they do not contain amendments (Rule 70.16 and 70.17).

\*\* Any replacement sheet containing such amendments must be referred to under item 1 and annexed to this report.

V. Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement

1. Statement

Novelty (N)	Claims	1-23	YES
	Claims		NO
Inventive step (IS)	Claims	15	YES
	Claims	1-14, 16-23	NO
Industrial applicability (IA)	Claims	1-23	YES
	Claims		NO

2. Citations and explanations

Claims 1-14 and 16-23

Document 1 (ASCII Shoseki Henshubu, ed., "i-mode Java Programming-Stand Alone Application Hen, Revised new edition," first printing, ASCII Corp., 21 May 2001, ISBN: 4-7561-3790-3, pages 40-52 (specifically page 47, chart 3-2; page 47, lines 5-9; page 48, last line to page 49, line 2)) indicates a configuration wherein a URL that expresses the location of an ADF file is included within a HTML file, the ADF file is downloaded from a web server using this URL, a jar file is downloaded from the URL that is indicated by the package URL item that is described within the downloaded ADF file and the program that is included within the jar file is executed.

Document 2 (Li Gong, "Java Series Java 2 Platform Security," first printing, Kabushiki Kaisha Pearson Education, 30 November 2000, ISBN: 4-89471-193-1, pages 123-125 and 134-138 (specifically, page 123, lines 18-22; page 124, lines 20-22; page 125, section 4.2.2)) indicates that a URL, which expresses the location of a policy file that corresponds to an application, is specified each time a program is executed.

The ADF file indicated in document 1 includes entries for controlling program execution conditions (for



example, the target device or the like); therefore, it would be obvious to a person skilled in the art of this technical field to set the URL of a policy file that specifies program execution conditions, like that which is indicated in document 2, as an ADF entry.

Furthermore, a configuration wherein policy files indicate whether or not a user has resource access privileges would be obvious to a person skilled in the art of this technical field as indicated in document 3 (Computer Today, 01 September 1998, Vol. 15, No. 5, pages 44-49, ISSN: 0289-3509 (specifically, page 47, left column, lines 28-29, "File Permission," "Socket Permission" and "Net Permission")).

#### Claim 15

Techniques for signing that employ an encryption key and a public key are well known as indicated in document 2 (pages 134-138). However, a technique wherein a public key is included within an application description file, a security description file is signed using a private key and the validity of the security description file is verified using the public key that is included in the application description file is not disclosed or suggested in any of the documents cited in the international search report.

Document 4 (EP 0813132 A2 (International Business Machines Corp.), 17 December 1997, page 2, lines 20-21 and page 3, lines 45-48, & US 5825877 A & JP 10-083310 A) demonstrates the general state of the art in this technical field, and discloses a feature wherein an ACL file that corresponds to a program is downloaded, and access to resources is controlled on the basis of the description within the ACL file.

**VIII. Certain observations on the international application**

The following observations on the clarity of the claims, description, and drawings or on the question whether the claims are fully supported by the description, are made:

The description does not set forth a configuration that corresponds to the disclosure "only in cases when the storage location for the aforementioned security file is within the aforementioned management server device" in claim 17. Therefore, claim 17 of this application is not fully supported by the description.

The description does not set forth configurations that correspond to the disclosures wherein "information related to the validity of the security description file is written into the aforementioned storage unit," and "when a query related to the validity of the security description file is received from a terminal device via the aforementioned communication unit, the information related to the validity of said security description file is read out from the aforementioned storage unit and is transmitted to the aforementioned terminal device via the aforementioned communication unit" in claim 22. Therefore, claim 22 of this application is not fully supported by the description.

The description does not set forth a configuration that corresponds to the disclosure "in cases when a response indicating that the aforementioned security description file is invalid has been received from the aforementioned management server device via the aforementioned communication unit" in claim 23. Therefore, claim 23 of this application is not fully supported by the description.